



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 株式会社 J-オイルミルズ
 コード番号 2613 URL <http://www.j-oil.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 榎田 純和
 (氏名) 立見 健一

TEL 03-5148-7100

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	46,566	8.7	1,800	60.4	1,900	59.2	1,068	121.3
23年3月期第1四半期	42,840	△3.9	1,122	△34.5	1,193	△29.9	482	△50.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,040百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △160百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.40	—
23年3月期第1四半期	2.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	142,611	66,850	46.9
23年3月期	140,843	66,477	47.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 66,850百万円 23年3月期 66,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,000	13.7	3,100	76.4	3,100	72.1	1,700	111.7	10.18
通期	195,000	13.3	7,300	71.3	7,200	70.3	3,900	117.1	23.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	167,542,239 株	23年3月期	167,542,239 株
24年3月期1Q	617,169 株	23年3月期	616,489 株
24年3月期1Q	166,925,305 株	23年3月期1Q	166,939,268 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成24年3月期第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）に係る経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響からの回復の動きはあるものの、原発事故による被害や電力供給の制限に加え、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念等が続く、厳しい状況にありました。

製油産業におきましては、主原料である大豆のシカゴ相場は、概ね1ブッシェル当たり13米ドル台で上下し、引き続き高値での動きとなりました。菜種のウィニペグ相場も、大豆相場と同様の値動きとなり、概ね1トン当たり550～600加ドルの高値で推移しました。

このような環境の下、当社は、原料高騰に見合った製品価格を実現するため、得意先に対し粘り強く理解を求めると共に生産効率の向上、物流コストや販売促進費の削減といったコストダウン活動に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.7%増の465億66百万円、営業利益は前年同期比60.4%増の18億円、経常利益は前年同期比59.2%増の19億円、四半期純利益は前年同期に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したことにより、前年同期比121.3%増の10億68百万円となりました。

当第1四半期におけるセグメントの営業概況は、次のとおりであります。

(製油事業)

油脂部門においては、原料コスト増加に見合った製品価格の是正に取り組みました。

家庭用油脂は、震災後の余震の影響を受けて、家庭内での揚げ物調理が敬遠され、販売数量は前年同期を下回りました。なお、6月より主力製品のひとつである「AJINOMOTO健康サララ」の新テレビCMによる積極的な販促活動を展開しております。

業務用油脂は、震災による外食産業の需要低迷が大きく影響し、販売数量は前年同期をやや下回りましたが、“長く使える”をコンセプトとした「長調得徳」シリーズは、ユーザーの支持を受けて堅調に推移しました。

加工用油脂は、製品価格是正に注力するとともに、顧客との取組強化を進めましたが、販売数量は微減となりました。

マーガリン部門においては、家庭用マーガリンは、3月に発売した新製品「ラーマソフト減塩」が計画通りに量販店で採用される等、販売数量は好調に推移しました。業務用マーガリンは、被災地向けの製菓・製パン類の需要が一時的に増加したことにより、販売数量は前年同期を上回りました。

油糧部門においては、飼料メーカーの被災によって販売数量が減少したことに加え、輸入大豆ミールの大幅な増加、菜種ミールの飼料配合率の低下により、大豆ミール・菜種ミールの需要が減少し、販売数量・売上高ともに前年同期をやや下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は428億82百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は23億77百万円（前年同期比32.4%増）となりました。

(その他)

飼料部門においては、東北地方の飼料メーカーが被災したことから当社への需要が大幅に増加し、販売数量・売上高ともに前年同期を大きく上回りました。

スターチ部門においては、昨年から取り組んでいる製品価格の是正が進み利益面では改善傾向にあるものの、米菓向けワキシースターチが震災による需要減退影響を受けたことや食品用タピオカ澱粉の販売不振等が影響し、売上高・販売数量ともに前年同期を下回る結果となりました。

健康食品部門においては、震災以降のサプリメント需要が減少したこと等により売上高は低調に推移しました。トコフェロール等のファイン素材は、被災企業への協力生産等により売上高は微増となりました。大豆蛋白を原料とするシート食品「まめのりさん」は、主要販売先である米国におけるレストランへの新規拡大策等が功を奏し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

化成品部門においては、主たる需要家である建材業界では、震災の仮需要等により新設住宅着工戸数が堅調に推移しましたが、石油化学系原料は大手化学メーカーの被災により一時的に大きく値上がりしました。このような状況の下、一部製品の価格是正の実施等により、販売数量・売上高ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、その他の売上高は36億83百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は2億26百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末と比べ17億68百万円増加し、1,426億11百万円となりました。主な増加は、たな卸資産（合計）が42億24百万円であります。主な減少は、現金及び預金が3億96百万円、受取手形及び売掛金が6億16百万円、流動資産その他が4億53百万円、有形固定資産が8億38百万円であります。

負債は、前期末と比べ13億95百万円増加し、757億61百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金が16億円あります。主な減少は、借入金合計が5億8百万円あります。

純資産は、前期末と比べ3億72百万円増加し、668億50百万円となりましたが、自己資本比率は0.3%減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期におきましては、期初の予想に対して良好な進捗を達成することができましたが、震災や原発事故影響による配合飼料の需要悪化や安価な海外産ミールの流入等により、油脂の連産品であるミールの価格が下落しており、搾油採算は厳しい状況が続くものと予想しております。更には震災や猛暑による家庭用製品等の消費減退の影響から、販売数量の減少も予想されます。このような厳しい環境下ではありますが、提案型営業の推進や適正価格での販売、コストダウンを通じて予想業績の達成をめざし、粘り強くチャレンジしてまいります。

以上により、当期の業績予想につきましては、前回発表（平成23年5月12日）から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,778	5,382
受取手形及び売掛金	33,621	33,005
有価証券	8	8
商品及び製品	13,167	15,336
原材料及び貯蔵品	17,152	19,208
繰延税金資産	1,359	1,118
その他	2,353	1,900
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	73,425	75,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,346	12,423
機械装置及び運搬具（純額）	19,928	19,599
土地	20,047	20,047
建設仮勘定	2,095	1,572
その他（純額）	1,586	1,522
有形固定資産合計	56,004	55,165
無形固定資産	619	567
投資その他の資産		
投資有価証券	9,347	9,700
長期貸付金	383	362
繰延税金資産	204	92
その他	994	914
貸倒引当金	△136	△137
投資その他の資産合計	10,792	10,931
固定資産合計	67,417	66,665
資産合計	140,843	142,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,979	16,580
短期借入金	17,690	18,590
1年内返済予定の長期借入金	2,733	2,648
未払法人税等	592	342
未払消費税等	9	206
賞与引当金	782	404
役員賞与引当金	41	10
災害損失引当金	300	190
その他	11,457	12,242
流動負債合計	48,586	51,216
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	10,570	9,247
繰延税金負債	3,654	3,696
退職給付引当金	2,874	2,873
役員退職慰労引当金	252	239
環境対策引当金	122	122
長期預り敷金保証金	2,034	2,136
その他	1,270	1,229
固定負債合計	25,778	24,545
負債合計	74,365	75,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	31,633	31,633
利益剰余金	23,368	23,769
自己株式	△210	△210
株主資本合計	64,791	65,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,653	1,717
繰延ヘッジ損益	54	△41
為替換算調整勘定	△22	△18
その他の包括利益累計額合計	1,685	1,657
純資産合計	66,477	66,850
負債純資産合計	140,843	142,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	42,840	46,566
売上原価	35,564	38,821
売上総利益	7,276	7,744
販売費及び一般管理費	6,154	5,944
営業利益	1,122	1,800
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	84	144
持分法による投資利益	55	28
雑収入	43	26
営業外収益合計	187	200
営業外費用		
支払利息	93	82
雑支出	22	18
営業外費用合計	115	101
経常利益	1,193	1,900
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	21	—
特別利益合計	21	0
特別損失		
固定資産除却損	139	28
固定資産売却損	1	—
減損損失	—	35
投資有価証券売却損	—	0
会員権評価損	0	1
リース解約損	4	3
環境対策引当金繰入額	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	314	—
特別損失合計	460	69
税金等調整前四半期純利益	754	1,831
法人税、住民税及び事業税	15	355
法人税等調整額	256	406
法人税等合計	271	762
少数株主損益調整前四半期純利益	482	1,068
少数株主利益	—	—
四半期純利益	482	1,068

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	482	1,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△447	63
繰延ヘッジ損益	△195	△96
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	4
その他の包括利益合計	△643	△27
四半期包括利益	△160	1,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160	1,040
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	39,319	3,521	42,840	—	42,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	10	66	(66)	—
計	39,375	3,531	42,907	(66)	42,840
セグメント利益	1,795	171	1,967	(845)	1,122

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料・スターチ・栄養補助食品・化成品の製造、加工、販売、ならびに不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△845百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△845百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

I 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	製油事業				
売上高					
外部顧客への売上高	42,882	3,683	46,566	—	46,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	10	95	(95)	—
計	42,967	3,693	46,661	(95)	46,566
セグメント利益	2,377	226	2,603	(803)	1,800

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料・スターチ・栄養補助食品・化成品の製造、加工、販売、ならびに不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△803百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△803百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。